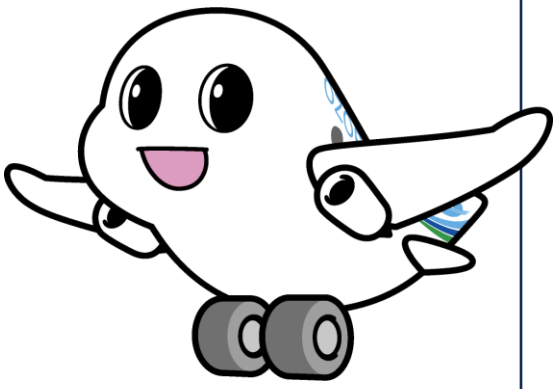
# 令和5年度
# ふれあいトーク

## ふれあいトーク日程



1　開会
2　町長あいさつ
3　説明資料
　（１）持続可能な社会保障制度に向けて
　（２）ご存じですか?空き家の活用方法
　（３）大空町の情報発信について
　（４）大空町地域交流拠点施設について
　（５）焼却処理施設の新規整備について
　（６）女満別研修会館の施設更新について
4　質疑応答・意見交換
5　閉会

大空に人花心育むまち

# 持続可能な社会保障制度に向けて
## ～大空町の健康課題を考える～

## 1．持続可能な社会保障制度とは

団塊の世代が75歳を迎える2025年以降は、医療費・介護費を始めとした社会保障給付費が大きく増加します。 2040年には高齢者人口はピークを迎え、現役世代は急減していくといわれています。後期高齢者になっても今と同じ制度（国民皆保険）が享受できるように医療費の適正化を推進していかなければなりません。また、町民皆さんには加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して健康の保持増進に努め生涯現役を目指していただきたいところです。

## 2．町の特性と将来（2040年）予測

人口約6700人、高齢化率は令和2年国勢調査で37.0%と国、道と比較すると高い割合です。国民健康保険の加入率は32.8%と国、道と比較して39歳以下の割合は高めでした。産業構成において第1次産業が40.3%と高く、天候や気候、季節といった自然の変化に応じた働き方が生活習慣に影響を与える可能性があります。

| | 人口（人） | 高齢化率（%） | 被保険者数（加入率） | 被保険者平均年齢（歳） | 出生率（人口千対） | 死亡率（人口千対） | 財政指数 | 第1次産業 | 第2次産業 | 第3次産業 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大空町 | 6,775 | 37.0 | 2,221（32.8） | 50.7 | 4.0 | 17.7 | 0.3 | 40.3 | 11.3 | 48.4 |
| 同規模 | -- | 39.4 | 25.6 | 55.7 | 4.9 | 17.2 | 0.4 | 17.0 | 25.3 | 57.7 |
| 北海道 | -- | 32.2 | 20.8 | 54.2 | 5.7 | 12.6 | 0.5 | 7.4 | 17.9 | 74.7 |
| 国 | -- | 28.7 | 22.3 | 51.9 | 6.8 | 11.1 | 0.5 | 4.0 | 25.0 | 71.0 |

出典：KDBシステム_健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

※同規模とは、KDBシステムに定義されている「人口が同規模程度の保険者」を指し、大空町と同規模保険者（240市町村）の平均値を表す

| | 町 | | 北海道 | 国 |
|---|---|---|---|---|
| | 実数 | 割合 | 割合 | 割合 |
| 被保険者数 | 2,221 | | | |
| 65-74歳 | 865 | 38.9 | 45.7 | 40.5 |
| 40-64歳 | 729 | 32.8 | 31.8 | 33.1 |
| 39歳以下 | 627 | 28.2 | 22.5 | 26.5 |

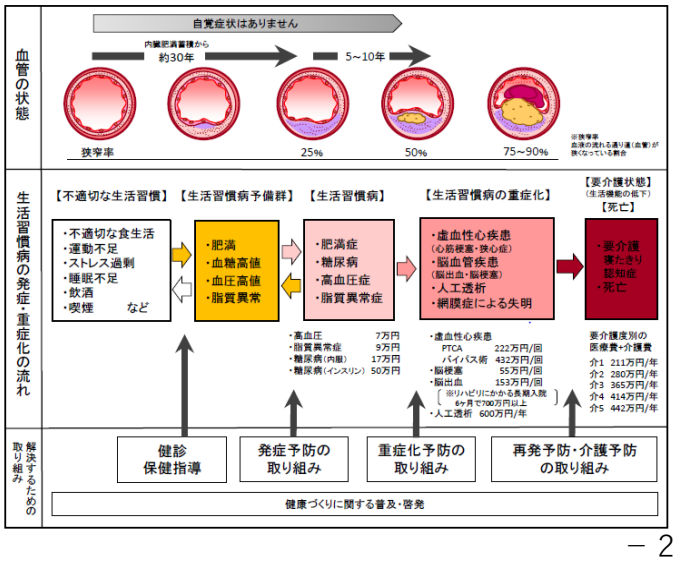
2040年の17年後、いくつになっていますか？

**2023年→2040年(17年後)**

50歳の方は67歳（前期高齢者）

65歳の方は82歳（後期高齢者）

## 3．痛くもかゆくもありません




図中の矢印は右に一方通行というだけではありません。戻ることができる段階があります。

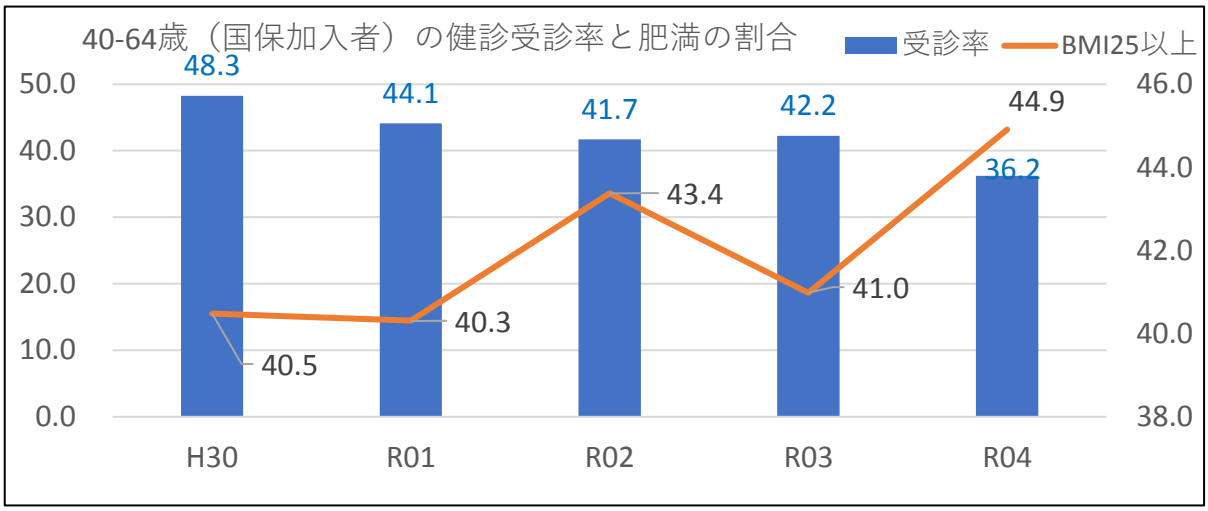
上の段の血管の状態を見ると内臓脂肪の蓄積から約30年、徐々に狭くなってきています。この間、自覚症状はありません。
裏を返せば心筋梗塞を起こした人はその30年以上前から血管を傷める要因が痛くもかゆくもないけど、続いていたことになります。

自覚症状がなくても体に起きている変化は健診を受けることによって数値で知ることができます。

## 4．大空町の健診受診率と肥満の割合

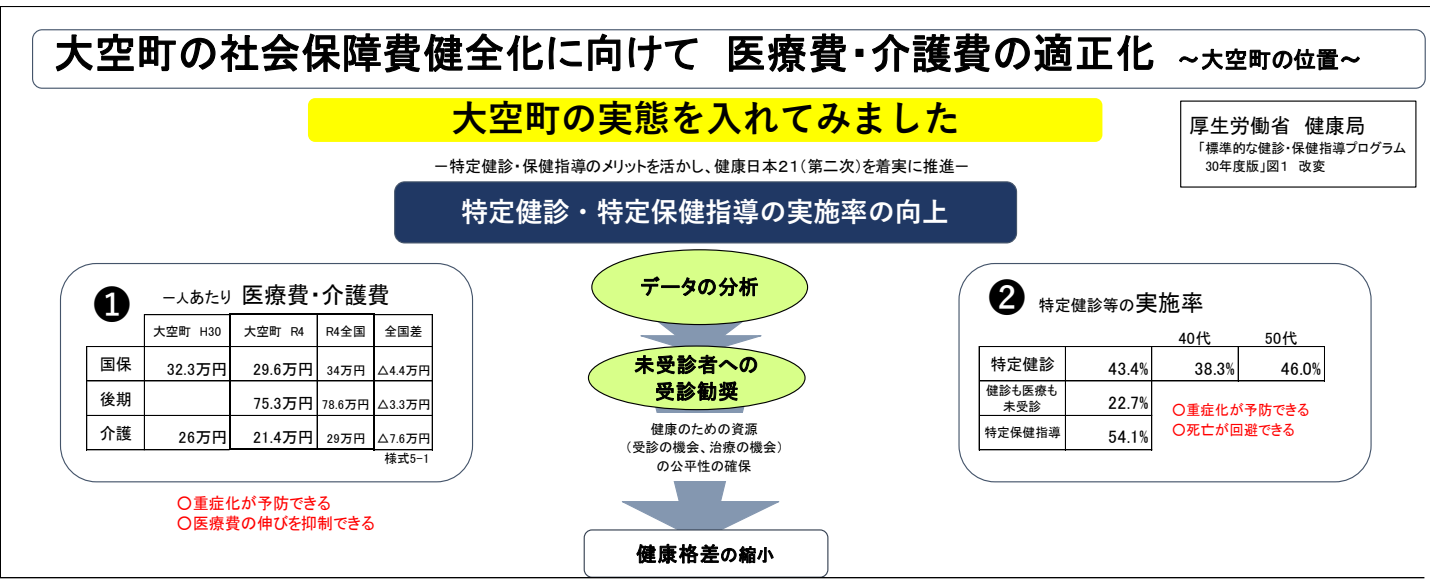
町で実施している特定健診・後期高齢者健診を平成30年度と令和4年度の年代別で比較しました。75歳以上の後期高齢者健診を除いて受診率の減少と肥満の割合の増加がみられます。さらに、40-64歳の受診率と肥満の割合の推移から受診率の低下と肥満の割合増加が確認されました。健診を受けなかった方の健康状態が心配です。また、検査数値を生活習慣や加齢に伴う変化として自覚していかないと健康の保持増進ができないことになります。

| 年度 | 健診受診率 | | | 肥満（BMI25以上） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 40～64歳 | 65～74歳 | 75～歳 | 40～64歳 | 65～74歳 | 75～歳 |
| H30 | 48.3% | 40.1% | 11.0% | 40.5% | 30.7% | 33.5% |
| R04 | 36.2% | 38.0% | 11.2% | 44.9% | 31.8% | 23.4% |
| 差 | ▲ 12.1 | ▲ 2.1 | 0.2 | 4.4 | 1.1 | ▲ 10.2 |




## 5．特定健診・特定保健指導の実施率の向上

1人あたり医療費・介護費は全国よりも低い金額です。特定健診受診率(40-74歳）は43.4%、保健指導実施率は54.1%です。今後も医療が高額化する病気(虚血性心疾患、脳血管疾患、人工透析）を限りなく予防していくことが社会保障健全化に向けた医療費・介護費の適正化となり、特定健診・特定保健指導の実施率の向上が不可欠です。




補足：

特定健診・特定保健指導は高齢者の医療の確保に関する法律に基づき医療保険者（国保・協会けんぽ・共済組合などそれぞれ）が実施するものです。

国民健康保険者における特定健診・特定保健指導の実施率の目標はともに60%になります。

# 空き家バンク

## ご存知ですか？
## 空き家の活用方法

空き家等情報・空き家利用希望登録をした方同士で、売買または賃貸が成立した場合に「空き家利活用助成金」をご利用いただけます。

| 登録住宅を売った方 | 登録住宅を買取り住み替えした方 | 登録住宅を買取り1年以内に改修した方 | 登録住宅を貸出す為に住宅を改修した方 | 登録住宅を借受け住み替えした方 |
|---|---|---|---|---|
| 5万円 | 20万円を上限として購入金額の1/2<br>うち2万円は商品券で支給 | 30万円を上限として改修金額の1/2 | 30万円を上限として改修金額の1/2 | 12ヶ月で6万円限度に6ヶ月賃貸ごとに3万円 |

# 定住促進助成金

## 助成の対象になっていませんか？

皆様が末永く大空町に暮らし続けていただくために、定住の支援を行っています。
ぜひ、ご利用ください。

①住宅新築助成金
新築住宅を建てた方

②住宅準備助成金
町外から賃貸住宅に引っ越しされた方

③空き家利活用助成金
空き家バンクを通して空き家を有効に利活用した方

④継続就業助成金
「おおぞらワーク」を通して同一雇用先に継続して1年以上就業した方

⑤自動車取得助成金
町外から転入し車を購入した方

⑥普通自動車運転免許取得助成金
町外から転入し1年以内に普通自動車運転免許を取得した方

**お問合せ先**
移住・定住支援室
74-2111（内線341）
オオゾライフ
OZORA life

# 協力メンバー募集中
# 大空町に定住をサポートする会

定住をサポートする会では移住検討者との交流や、まち巡りツアー、町の魅力発見・発掘のための勉強会などの活動に協力していただける方を募集しています。

町の魅力を知っている町民の方はもちろん、大空町に移住された方、大空町の事をもっと知りたい方など、みなさまのご協力をお待ちしております。お気軽にお問合せください。

# 大空町の情報発信について　～様々な広報媒体～

## X（旧ツイッター）

町のイベント情報やHPの新着情報等、
タイムリーな行政情報を配信！

●アカウント名：大空町公式アカウント
●アカウントID：@town_ozora

## Instagram（インスタグラム）

町内のオススメ情報や景色の写真などを配信中！「#おおぞら日和」を付けてどしどし投稿してください。
たくさんの投稿お待ちしています！

●アカウント名：大空町
●アカウントID：@ozora_town

「大空町のとっておきフォトコンテスト」を毎年開催しています！

## ホームページ

今年度全面リニューアルしたホームページはもうご覧いただきましたでしょうか？
町の新着情報や各種手続きの方法、申請書のダウンロードや緊急情報など、ホームページを見ることで、町の情報が全てわかるよう日々更新しています。
町民みなさんにとって見やすく、利用したいと思えるようなホームページを目指しています！

## FMあばしり

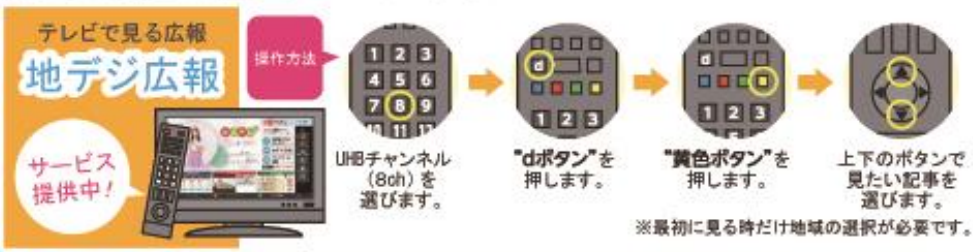
町の行政情報や地域ニュースをラジオを通して発信しています！

●番組名：大空インフォメーション
●放送日時：　毎週金曜日（各５分）
①午前１１時５４分～
②午後５時４５分～
●FMあばしりの放送周波数：７８．７MHz
※アプリでも聞くことができます。
※放送時間は変更になることがあります。

## 地デジ広報（UHB）

町の行政情報や地域ニュースをテレビを通して発信しています！
放送局は北海道文化放送（UHB）です。
テレビを見ながら大空町の情報をチェックできますので、ぜひご覧ください！

●放送局：北海道文化放送（UHB 8チャンネル）



# 大空町の情報発信について

～町民ダウンロード100%を目指しています！～

無料！

緊急情報

施設予約情報

天気予報

ゴミ出し

定点カメラ

慶弔

etc...

地域情報アプリ「そらっきーナビ」はもうダウンロードしていますか?

そらっきーナビ（略して「そらナビ」）は、大空町の情報を町民みなさんにお届けするアプリで、スマートフォンを持っていればどなたでもご利用いただけます。

そらナビには、災害などの緊急情報のほか、ゴミ出しや慶弔のおしらせなど生活に役立つ機能が盛りだくさん!

まだダウロードしていない方は、下の方法でぜひダウロードしてください。

## ダウンロード方法 「JC-Smart」をダウンロード後、ご利用いただけます

1 QRコードを読み取るか
アプリストアで「JC-Smart」と検索

JC-Smart

2 アプリ起動後、利用規約に同意し
選択画面から「そらっきーナビ」を選択

**問合せ先** 総務課 企画グループ（内線２０５）

# 大空高校交流拠点施設について

## ◆生徒の在籍数

令和5年度で高校設立3年目を迎え、1年生～3年生まで全校生徒が総合学科の学校になりました。

| | 大空町内 | バス通学圏 | 道内遠方 | 道外 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 3年生 | 5 | 14 | 2 | 6 | 27 |
| 2年生 | 15 | 10 | 4 | 10 | 39 |
| 1年生 | 12 | 4 | 3 | 15 | 34 |

計100名

【出身中学】
- 道内近隣　大空町・網走市・美幌町・小清水町、斜里町・清里町
- 道内遠方　札幌市・北見市・釧路市・陸別町、別海町
- 北海道外　東京・神奈川・ 新潟・宮城・千葉・茨城・栃木 愛知・山口・京都・大阪・福岡・宮崎・徳島

## ◆町民との交流

学校での地域探究の取組をはじめ、今年度からは交流拠点施設にて、地域の皆様にもご支援とご協力をいただき、地域と学校が協働した様々な取り組みを行っています。

東藻琴そば打ち同好会とのそば打ち交流

寮生主催の地域交流夏まつり

## ◆全道・全国からも注目の学校に

オープンスクール（学校体験見学会）には道内外多くの中学生に参加頂きました。

| 開催日 | 東藻琴 | 女満別 | 道内 | 道外 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 8/25 | 3 | １５ | ２８ | １５ | ６１ |
| 11/3 | 2 | 8 | １２ | １９ | ４１ |
| 合計 | 5 | ２３ | ４０ | ３４ | １０２ |

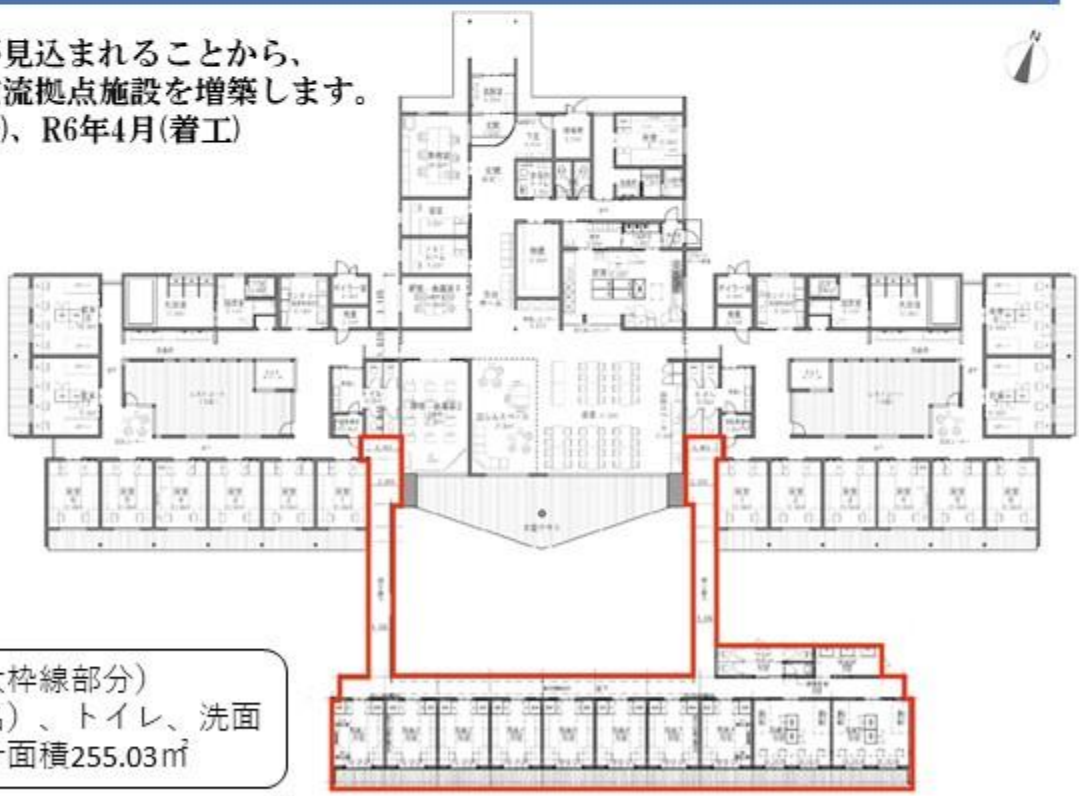
## ◆入寮生の見込みについて（道外生・道内遠方）

| 学年 | 男女 | R5 | R6(見込) | R7(見込) |
|---|---|---|---|---|
| 1年生 | 男子 | 4 | １２ | １０ |
| | 女子 | １４ | １２ | １０ |
| 2年生 | 男子 | 6 | 4 | １２ |
| | 女子 | 6 | １４ | １２ |
| 3年生 | 男子 | 3 | 6 | 4 |
| | 女子 | 5 | 6 | １４ |
| 地域みらい365留学生 | | - | 2 | 2 |
| 合計 | | ３８ | ５６ | ６４ |

オープンスクールの参加状況から、今後、入寮生の増加が見込まれます。

## ◆交流拠点施設を増築

生徒の増加が見込まれることから、
不足となる交流拠点施設を増築します。
R6年1月(設計)、R6年4月(着工)



○増築箇所（太枠線部分）
居室10室（24名）、トイレ、洗面
渡り廊下、合計面積255.03㎡

○建設費　190,630千円（税込）

※間仕切り壁を作り男女比率が変わった場合も対応します。

今後は学校での授業支援や、全国から来る生徒に地域のアクティビティを体験してもらう機会を創ったり、高校生にも地域の活動に参加してもらったりなど、町民の皆さんと高校生が交流し町の活性化が図られる場を創造して参りたいと思います。

# 焼却処理施設の新規整備について

現在の焼却処理施設は、昭和５９年に稼働を開始してから３８年が経過し、老朽化により維持管理費が増加している状況です。

最終処分場を長持ちさせるためにはごみの減容化が必要となることから、焼却処理施設を新しく整備する必要があります。

市町の財政負担を減らすため国の交付金を活用しますが、他の市町と連携して広域で処理施設を整備することを交付の要件とされています。

現在、１市４町（網走市・美幌町・斜里町・小清水町・大空町）により設立している「斜網地区廃棄物処理広域化推進協議会」において協議・検討を進めています。

## ① 新しい焼却処理施設の建設地

●現在の焼却処理施設（東藻琴地区）に近い、しらかば台スキー場奥の町有地（建設工事に係る残土置き場）を建設地としています。

現在は、生活環境影響調査や地下水の有無等の調査を実施しています。

今後も建設に必要な各種調査を実施する予定です。

新焼却処理施設建設地

## ② 処理方法の検討

●処理方式については、

①従来の「焼却単独方式」

②生ごみ等をメタン発酵させてバイオガス化による発電を行い、残りのものを焼却する「焼却施設＋メタンガス化施設」

の２つ方式について協議・検討を行っており、令和５年度中に処理方式を決定する予定です。

## ③ 施設整備のスケジュール

●令和６年度は、令和５年度に引き続き建設地に係る生活環境影響調査や地質調査、及び搬入ルートなどの検討を行う予定です。

●令和７年度以降は、焼却処理施設の設計、建設地造成に係る設計を実施した後、令和８年度から建設工事を開始する予定で検討を進めます。

なお、施設の使用開始については、「令和１０年４月」の供用開始を目指しておりましたが、昨今の世界情勢による資材調達や建設業界の働き方改革により時間がかかることが予測されるため、「令和１１年９月から令和１２年６月」の間の供用開始を目指して検討を進めているところです。

施設整備に関しては、町民みなさんのご理解が必要不可欠です。

今後も各種集会・懇談会、広報誌などを通じて町民みなさんに周知しながら検討を進めていきます。ご理解とご協力をお願いします。

# 女満別研修会館の施設更新について

女満別研修会館は、建設から５０年が経過し老朽化が進んでいることから、新たに施設整備の検討を進めることとしました。一般的に公共施設を建設する場合は、下記の手順によって行われることになりますが、今年度は基本構想の策定を行うこととしています。

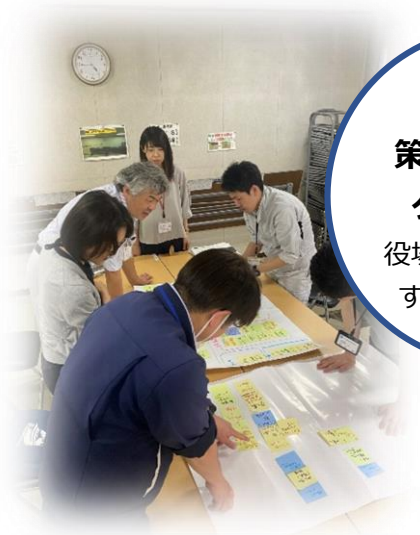
**基本構想（今年度）** → **基本設計** → **実施設計** → **建設工事**

| 基本構想（今年度） | 基本設計 | 実施設計 | 建設工事 |
|---|---|---|---|
| 社会背景や町民の意向を踏まえ、施設のコンセプトを定め、必要性の合意形成を図るもの | 利便性や機能性を整理しレイアウトや施設の具体的イメージや概算工事費を示すもの | 建設工事の詳細な設計書で、工事費の実質的な積算を行うもの | 実施設計に基づいて建設工事を行います。 |
| 施設概要や用途、建設候補地の検討 | 平面計画（レイアウト）施設規模、概算工事費等 | 設計書 建設工事工程表 | |

構想・計画段階のため内容はまだ決定ではない

設計・建設のため整備内容は確定となる

基本構想策定のため役場職員によるプロジェクトチームを構成し半年をかけて「素案」を作成し、町民で構成する検討委員会で協議を行っています。こうして作成した「素案」について町民の皆さんの意見を聞きながら施設整備の検討を進めてまいります。



**基本構想策定プロジェクトチーム**
役場主幹等で組織する検討チーム

教育委員会
（社会教育Ｇ）

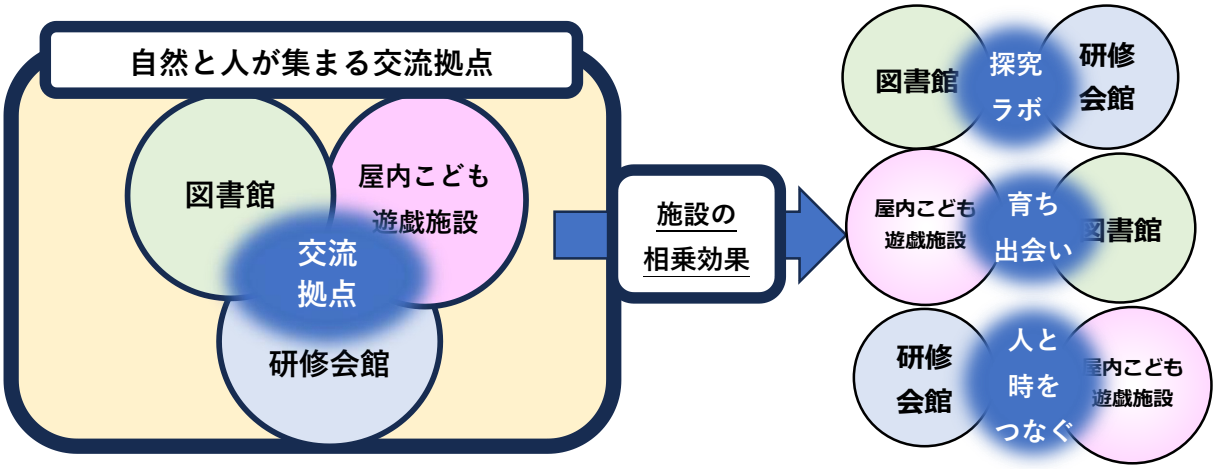
**基本構想策定委員会**
町民で組織する検討委員会

**基本構想素案**
アンケート・説明会等

町　民

# プロジェクトチームと策定委員が考えた素案とアイディア

プロジェクトチームでは将来のまちづくりに必要な視点から「自然と人が集まり交流できる施設」をコンセプトに、研修会館に「図書館」と「屋内こども遊戯施設」を合わせた複合的な施設にするという「素案」を考えました。また、策定員会でも３つの用途の有効性や相乗効果も議論し、この「素案」をもって町民の皆様に意見を聞くことにしました。




プロジェクトチームでは「素案」協議の過程において先進地視察も行い「施設整備には町の戦略が必要」との議論を行いました。この「戦略のアイディア」は、必ずしも実現できるものではありませんが皆様に紹介させていただき、施設整備の将来性の議論を深めていきたいと思います。

**【無人ＥＶバス】**
2023 年 4 月から、限定地域であれば運転手が乗車しなくても公道での巡回サービスが解禁となる。特定の条件下であれば遠隔監視のみ無人自動運転が可能となる。

**オホーツクの空の玄関口**
**女満別空港**

**【戦略１】**
無人 EV バスで観光客の関心をつかみ「空港サテライト交流拠点」へ人の流れを創出！

**女満別空港⇔交流拠点**
**【巡回型無人ＥＶバス】**

**【戦略２】**
公用車のＥＶ化により非常時は建物への給電用の電源として活用。休日はカーシェアリングとして、町民や観光客、移住希望者などに利用してもらう。

**空港サテライト交流拠点**
**「人が集う」×「人が交流する」＝「町が活性化する」**

**【戦略３】**
ロビーに Café などつくり町民や空港利用者の利便性を高め、施設に滞留させることで、図書館やこども遊戯施設への利用促進が図られ、町民との多様な交流が期待できる。